

公孫樹 (いちろう) 11月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

メジナといじめの話

○ちょっと前の話ですが、新聞に載っていた記事を紹介します。
東京海洋大学客員助教授・さかなクンの話です。

中1のとき、吹奏楽部で一緒だった友人と、だれも口を聞かなくなったりありました。いばっていた先輩が3年になったとたん、無視されたこともありました。突然のことで、わけはわかりませんでした。

でも、魚の世界と似ていました。たとえばメジナは海の中で仲良く群れて泳いでいます。せまい水槽(すいそう)と一緒に入れたら、1匹を仲間はずれにして攻撃し始めたのです。

ケガしてかわいそうなので、その魚を別の水槽に入れました。

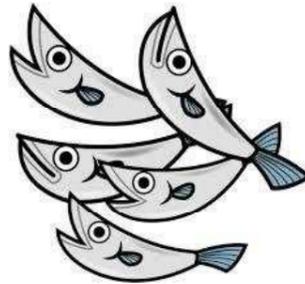
すると残ったメジナは別の1匹をいじめ始めました。助け出しても、また次のいじめられっ子が出てきます。いじめっ子を水槽から出して新しいいじめっ子があらわれます。

広い海の中ならこんなことはないのに、小さな世界に閉じこめると、なぜかいじめが始まるのです。同じ場所に住み、同じエサを食べる、同じ種類同士です。

中学時代のいじめも、小さな部活動でおきました。ぼくは、いじめる子たちに「なんで？」と聞けませんでしたが、でも仲間はずれにされた子と、よく魚つりに行きました。学校から離れて、海岸で一緒に糸をたれているだけで、その子はほっとした表情になっていました。話を聞いてあげたり、励ましたりできなかったけれど、だれかが隣にいて安心できたのかもしれない。



ぼくは変わりものですが、大自然のなか、魚に夢中になっていたら嫌なことも忘れます。大切な友だちができる時期、小さなカゴの中でだれかをいじめたり、悩んでいたとしても楽しい思い出は残りません。外には楽しいことがたくさんあるのもったいないですよ。広い空の下、広い海へ出てみましょう。
(朝日新聞 2006年12月2日掲載)



○11月14日(土)県民の日に行田市教育文化センターにて、「少年の主張大会」が開かれました。出場者の1人の発表が「いじめ」についてでした。要旨は以下のとおりです。

私はいじめにあいました。「あれ〇〇、まだ、学校に来てる！」聞こえるように言われました。信じていた友達からも裏切られました。「逃げ場がない」。自分の見えない部分に自分で傷をつけたこともありました。しばらくして、いじめはおさまりました。でも、私は今でも心から笑うことができません。

ある日友達から、「仮面をつけているような笑顔だね」と言われました。「仮面みたい!」。心に突き刺さりました。一度いじめにあうと、心の傷は一生癒(い)えません。



さかなクンの話 魚(メジナ)は本当にいじめをおこすのでしょうか?

「水槽がせまくなる」→「ストレスを感じる」→「誰かをいじめる」と、考えることもできますが……。そうすると、「いじめ」はストレスを感じた動物が、自分の気持ちを晴らすために本来持っている本能なのではないでしょうか?

少年の主張での話 いじめを克服した、とても心の強い生徒の発表です。でも、そんな彼女ですらいじめの後遺症が今でも残っています。身体の傷はいつかは治りますが、心の痛手はいつまでも癒(い)えません。もしかしたら、一生……。 (相手を恨み続けるかも……)

「自分を相手より強い立場にしたい人が、相手より努力せずに強く見せたい時、相手の自尊心を壊すことで優位に立てると錯覚する。」努力もせずに相手より上に立ちたい。そのためには相手を引きずりおろすのが手っ取り早い。そうすると、何か心が晴れるような気がする。そんな「いじめ」の構図が見えてきます。大変情けない話です。

もし、誰かをいじめている人がいたとしたら、すぐにやめてください! 周りの人は、すぐにやめさせてください! 私たちは「メジナ」ではなく、理性をもった人間です。

いじめのない明るい学校を皆でつくっていきましょう!

子ぶたの行為は殺人か?

3年生の社会科(公民)でおもしろい授業を行っていたので、紹介します。
『子ぶたの行為は殺人か? 正当防衛か?』という内容の模擬裁判です。

- 3匹の子ぶたがいました。長男ぶたと二男ぶたがオオカミに食べられてしまったという噂が村に広がりました。
- 三男ぶたのところにオオカミがやって来ましたが、家のドアを閉め切りにしたところ、オオカミはエントツから子ぶたの家に入ってきました。
- 子ぶたはあらかじめ用意しておいた暖炉の大なべに、グツグツとお湯を沸かしていました。
- 子ぶたは、オオカミが大なべに落ちるとすぐにフタをしました。オオカミは全身やけどで死亡しました。



生徒は裁判官、裁判員、検察官、弁護士、証人、傍聴人に分かれそれぞれの主張を述べあいました。初めに先生が傍聴人に聞くと、圧倒的に「子ぶたの行為は正当防衛(無罪)」が多かったです。その後、班ごとにじっくりと話し合った結果、今度は有罪・無罪が拮抗しました。

大変難しい判決だと思います。今の中学生は将来「裁判員」になる可能性があります。その際は、この授業を思い出してください。